

## 令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	三田市			代表者名	田村 克也
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	地域福祉課	連絡先電話番号	079-559-5069
担当者役職	係長	担当者氏名	池田 宣功	連絡先E-mail	
住所	669-1595 兵庫県三田市三輪2丁目1番1号				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

#### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	民生委員・児童委員担い手確保対策事業
概要	民生委員・児童委員の担い手確保を目的としたフォーラムの開催に係る企画・構成・運営への助言。 また、令和6年度に作成した民生委員・児童委員広報素材の効果的な活用に係る戦略的広報及びICTの活用に関する助言。		
支援を求める分野	ICT活用広報		

### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年5月21日	支援・助言(オンライン)	13時30分	16時30分	10
			活動時間（分）	170	
2-2. 派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン	
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン	

### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	井上 あい子
評価	大変良い
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	地域共生フォーラムの開催に向けた企画・構成や民生委員・児童委員広報素材の活用に係る広報戦略について、専門的な知見から多様な考え方を伺うことができた。
アドバイザーへの要望事項	特になし

### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	2人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
人数	2				

#### 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"><li>■フォーラムの開催<ul style="list-style-type: none"><li>これまで民生委員・児童委員と関わる機会がなかった人や、委員活動と自身の日常生活との結びつきを感じられなかった人が参加したいと思える企画・構成となっているか。</li><li>参加者が地域における民生委員・児童委員の必要性や存在意義を理解し、民生委員・児童委員の担い手不足から見えてくる地域課題を自分事として捉えられる内容であるか。</li></ul></li><li>■ICT活用広報<ul style="list-style-type: none"><li>令和6年度に作成した民生委員・児童委員広報素材をもとに、ICTを活用した幅広い年齢層の目に留まり記憶に残る仕掛けづくりを行えるか。</li><li>市内に留まらず広域での利活用を目的として作成した横展開用広報素材を効果的に展開することができるか。</li></ul></li></ul>
---------------------------	--

支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者が地域における民生委員・児童委員の役割や必要性を理解し、民生委員・児童委員の担い手不足に係る課題を一部の活動者だけではなく、自身の日常生活に関わる地域全体の共通課題であると認識できるよう企画・構成によるフォーラムの開催。</li> <li>令和6年度において作成した民生委員・児童委員PR動画及び啓発チラシ等の広報素材を効果的に活用するため、既存の広報媒体にとらわれずICTを活用しながら、幅広く印象に残る情報発信を行う戦略的広報の展開。</li> <li>担当職員のファシリテーションや交渉能力の向上。</li> </ul>	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>フォーラムの参加者が登壇者の話を聞くだけでなく、自身が感じたことを自由に発言し、地域課題を自分事として考えられる場とするための会場レイアウトや進行の流れ、登壇者との調整に関する助言。</li> <li>フォーラムの周知・啓発や他市町に向けた担い手確保に係る取り組み事例の紹介など、外部への情報発信を行う際により多くの人の関心を得るためのポイントや情報発信の機会そのものを広報材料とする考え方についての助言。</li> </ul>	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>当初、パネルディスカッションにおいて、地域活動に取り組むボランティア団体の代表者に登壇を依頼する予定だったが、普段地域活動に関わる機会がない参加者にも地域活動を身近に感じてもらうためには、実際に活動している人に焦点を充てて「共感」できる要素を盛り込むことで、参加者の関心を得ることが重要であるとの認識を得た。</li> <li>兵庫県主催の民生委員・児童委員担当所管課向け事務説明会において、三田市における担い手確保に係る取り組み事例の紹介を行い、広報素材の作成やアンケート調査の実施などこれまでの取り組み内容だけではなく、地域情報化アドバイザー制度の活用やDX部署との連携、サービスデザインセミナーへの登壇や地域共生フォーラムの開催など、取り組み過程や情報発信の場自体を広報素材として紹介することで、参加者の関心を得やすい事例報告を行うことができた。</li> </ul>	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)</p> <p>アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>実施していない</p>	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
4-4. 事業の最終的な目指す姿	<p>ICTを活用した幅広い世代への情報発信や、民生委員・児童委員が自身の言葉で地域住民へ思いを伝える機会の創出により、これまで委員活動により支えられていた地域福祉の側面を地域住民が再認識しその必要性を理解するとともに、民生委員・児童委員の担い手不足の背景にある課題を通して地域における福祉課題を住民と共有することで、一部の活動者だけではなく地域全体で「人とのつながりを感じられる温かいまちづくり」に取り組む機運を醸成する。</p>	
5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		
掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	<a href="https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/">https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/</a>
<b>なおくその他&gt;を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください</b>		
6. 地域情報化アドバイザー支援の様子		
今回の派遣における <b>地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」</b> を数枚程度貼り付けて下さい。		
		